

## ナシの作況について(5月30日分)

農技研果樹担当

### 1 生育状況等

- (1)「幸水」満開後 40 日の肥大状況は平年と比べー3日強の開きがあったが、50 日では、-1.4 ~ -1.6 になり、果実肥大は回復傾向。長果枝のえき花芽が少なかったため、着果位置が先端部分に偏っている。長果枝の基部等から新梢が多発している場合はピンチ(摘心)等の新梢管理を徹底する。
- (2)「豊水」の果実肥大は順調、有てい果は多く、果形はやや腰高傾向。
- (3)「彩玉」の満開後 50 日における平年比は+11 日と良好。
- (4)「あきづき」の果実肥大も順調。今年は短果枝の果実が比率的に高いため、軸折れに留意し摘果する。

### 2 病虫害の発生状況

- (1)試験場の圃場では黒星病の果実感染等は見られない。一部生産者の圃場では、黒星病の初期発生が多いとの報告があり、今後も注意が必要。
- (2)昨年の今頃発生したアザミウマ類による新梢葉の黄化(画像参照)は今のところ見られない。5月中旬にモメントフロアブルを散布したので発生が抑えられているのではないかと推察している。



昨年ナシの新梢に発生したアザミウマ類



アザミウマ類による新梢葉の黄化